

# 令和6年度汚泥肥料化利用検討試験の栽培試験結果について

## 概要

- 犀川安曇野流域において、令和元年度より南安曇農業高校と効果検証試験を実施中。
- 令和6年度は、各種作物（米、麦、大豆、野菜類等）の栽培試験を実施し、作物の生育状況と汚泥肥料の効果及び安全性を検証した。

## 栽培試験結果

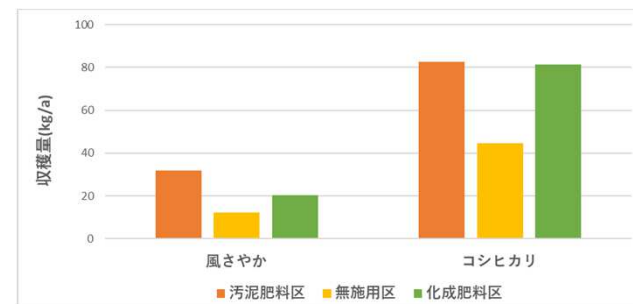
### (1)米

#### 【試験内容】

試験田に汚泥肥料区（200kg/a施用）、無施用区、化成肥料区（7 kg/a施用）等を設け、稲（風さやか、コシヒカリ）を栽培し生育状況や収穫量を検証した

#### 【結果】

2品種とも汚泥肥料区は化成肥料区より収穫量が多い結果となり、汚泥肥料は化成肥料と同等以上の効果が得られた。



各施用区の収穫量（米）

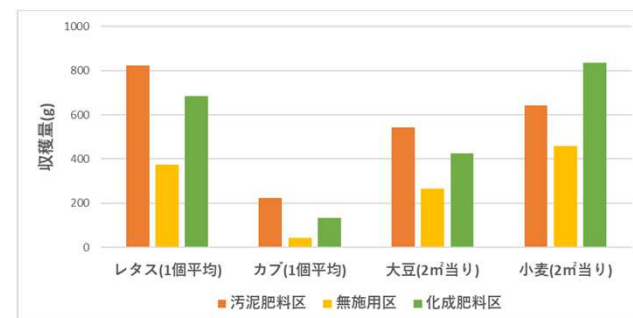
### (2)その他

#### 【試験内容】

試験畑に汚泥肥料区、無施用区、化成肥料区等を設け、野菜類（レタス、カブ）や大豆、小麦を栽培し、生育状況や収穫量を検証した。

#### 【結果】

野菜類と大豆は汚泥肥料区で生育や収量の結果が良かったが、麦では化成肥料区ほどの収穫量はなかった。



各施用区の収穫量（野菜、大豆、小麦）